

安全だより

令和6年度 第4号
発行 令和7年3月

本部事務局 Tel079-226-4100
香寺連絡所 Tel079-232-7600
夢前連絡所 Tel079-336-1600

URL : <https://www.himeji-sjc.or.jp/>
安富連絡所 Tel0790-64-8525
家島連絡所 Tel079-325-0311

☆無事故日数について

事故防止の意識向上を図るため、傷害事故の無事故日数 90 日以上を目指します！

事故を減らすには、会員の皆様の一人一人の安全に対する意識が重要です。引き続き、安全対策に注意を払われるよう、よろしくお願いいたします。

起 算 日 令和7年3月4日
無事故日数 10日(令和7年3月13日現在)

☆事故発生状況について

令和7年2月末現在の事故発生件数を項目毎の件数の多い順に記しました。傷害事故は増加しており、賠償事故は大きく減少しています。事故減少を目指しましょう。(令和5年度は年度末まで)

〔傷害事故〕

就業形態	令和5年度	令和6年度
移動中(交通事故等)	15	12
その他屋内作業中	4	6
草刈・除草等		4
植木剪定中	1	4
家事	1	3
清掃中	6	2
その他作業中	4	1
計	31	32

事故形態	令和5年度	令和6年度
交通事故	15	12
転倒	7	6
切れ・擦れ		3
(蜂等に)刺され	2	3
挟まれ・巻き込まれ	2	2
動作の反動・無理な動作		2
激突	1	1
飛来・落下		1
犬に噛まれ		1
熱中症		1
墜落・転落	3	
火傷	1	
計	31	32

〔賠償事故〕

就業形態	令和5年度	令和6年度
草刈・除草等	13	7
植木剪定中	3	3
その他屋内作業中	1	2
移動中(交通事故等)	3	0
家事	1	0
清掃中	3	0
その他作業中	0	0
計	24	12

☆事故の概況と注意点について

特に発生件数の多い交通事故と転倒事故について、取り上げます。

交通安全について

就業と帰宅の途上の交通事故において、特に、自転車での事故が多く発生しています。

令和6年度の事故事例と、その注意喚起を掲載しましたので、安全対策をお願いします。

自転車での事故事例

事例1 前方の障害物を避けたところ、車体のバランスを崩して傍らの側溝に転落、体を打ち付けて負傷した。ヘルメット未着用

事例2 交差点を直進中、対向車が右折をしてきて衝突、転倒して負傷した。ヘルメット未着用

事例3 歩道上を右折したところ、後方からの自転車に追突されて転倒し、頭部他を打ち付けて負傷した。ヘルメット未着用

事例4 T字路を左折したところ、雨天で濡れていたグレーティング上で前輪を滑らせて転倒した。雨合羽のフードがうまく被れなくなるため、ヘルメットは着用していなかった。

事例5 前カゴに積んでいた収集後のゴミが落ちかけたので手で押さえたところ、体のバランスを崩して転倒、通路脇の溝に転落、負傷した。ヘルメット未着用

事例6 自転車を押していたところ、進路脇の花壇に自転車の前輪が引っ掛かり横転、カゴから落ちた荷物を拾い上げて自転車を起こそうとしたところ、顔面をハンドルに強打して負傷した。ヘルメット未着用

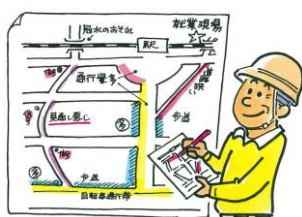
事例7 見通しの悪いT字路で左折してきた自転車避けようと急ブレーキをかけたところ、左手に体重が急激にかかり、手首を捻って負傷した。相手方とは衝突しなかった。ヘルメットは着用していた。

事例8 前走の自転車が急停止したために急ブレーキをかけたところ、バランスを崩して転倒、地面に体を打ち付けて負傷した。前走者と接触はしなかった。ヘルメット未着用

事例9 交差点を直進しようとしたところ、右方向からの自動車に衝突されて転倒、負傷した。両者共にライトを点灯していなかった。ヘルメット未着用

注意喚起

- ・ 交通法規を順守する。
- ・ ヘルメットを必ず着用する。
- ・ 右左折の際は後方も確認する。
- ・ 自転車のカゴに荷物を積む際はカバーで覆う。
- ・ 前走者との車間距離を空ける。
- ・ 雨天では路面の状態に注意して運転する。
- ・ 雨合羽着用時でもヘルメット着用を優先する。
- ・ 早めにライトを点灯し、反射材等を着用する。
- ・ 普段からより安全と考えられるルートを選ぶ。
- ・ 天候によって出かけることが危険と感ずる場合は、無理に就業しない。



転倒について

交通事故に次いで、転倒事故が多く発生しています。

令和6年度の事故事例と、その注意喚起を掲載しましたので、安全対策をお願いします。

転倒事故の事例

事例1 掃除中に宅配を受取りに庭先に出たところ、右足が躓き転倒、右膝を捻って負傷した。

事例2 折畳式のカゴ車を運んでいたところ、バランスを崩して後方に転倒して後頭部を強打、そこにカゴ車が倒れてきて右額に衝突、負傷した。

事例3 屋内清掃作業中、他業者が清掃用に撒いた石鹼水に気付かずエレベーターから踏み出して足を滑らせ転倒、体を床に打ち付けて負傷した。

事例4 法面の草刈作業中、移動しようとして足を踏み出したところ、足に力が入りきらずに転倒、右傍の木に腕があたって右肘を捻り、負傷した。

事例5 駐車場で前日に駐車した車両のナンバーを確認中、霜で足を滑らせて転倒、頭部を打撲した。

事例6 個人宅の掃除中に部屋を移動していたところ、散らかった部屋のPタイル上に紙が落ちていたことに気付かずその上を歩き、足を滑らせて転倒、体を床に打ち付けて負傷した。

注意喚起

- ・ 歩行時には焦って歩かない。
- ・ 進行方向の足元の状況に注意する。
- ・ 冬季には、特に地面の凍結に注意する。
- ・ 何らかの物が進行方向の床上に落ちている場合、その上を歩かないようにする。



『全シ協 安全就業スローガン』
安全は 無理せず 焦らず 油断せず